

平成30年度修士課程（一般選抜・春期試験）問題 目次

専門試験		ページ
文化動態論	共生文明論	2～4
	アート・メディア論	5～6
	文学環境論	7～9
	言語生態論	10

平成30（2018）年度

大阪大学大学院文学研究科（修士課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化動態論専攻 共生文明論コース 筆記試験

[問題用紙は、この紙をふくめて3枚あります。]

(注意事項)

- ・ 添付されている問題は、問1、問2、問3である。3題すべてに解答すること。
- ・ 解答は、日本語で解答用紙に記入すること。
- ・ 解答用紙には、解答する問題番号などを、それぞれの解答の冒頭に記入すること。
- ・ 中辞典程度の英語辞書の持込可。ただし、電子辞書は不可。

問1 次の(a)～(e)から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) メディア・リテラシーの重要性について、具体例をあげて述べなさい。
- (b) 日本史上の古代・中世・近世・近代のそれぞれの時代における人の移住について、具体例をあげて述べなさい。
- (c) 異なる立場の議論を説明したうえで、いわゆる「従軍慰安婦」について論じなさい。
- (d) 日本の「南蛮文化」について、文化の真正性の観点から説明しなさい。
- (e) ヨーロッパまたはアジアから任意の地域（複数可）を選び、そこにおける近代国民国家の形成と言語・文字政策の関係について、歴史的に概観しなさい。

問2 次の(a)～(j)から2つを選んで解説しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) 原理主義
- (b) 宗族
- (c) ムガル帝国 (Mughal, 1526～39, 1555～1858)
- (d) 倭寇
- (e) 新大陸
- (f) アラブの春
- (g) 14世紀の危機
- (h) 漂海民 (sea gypsies)
- (i) 二・二六事件
- (j) 科挙 (中国の)

問3 次の文章を読んで、以下の問い（問ア・問イ）に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は下記の通りです。引用部分は、“Henry Ford, bolstered”で始まり、“could not overcome.”で終わる1パラグラフです。

囲み部分とは、“Transplanted to Southeast Asia”で始まり、“could not overcome.”で終わる部分です。下線部とは、“It proved an unmitigated disaster.”の一文です。

(James C. Scott, *Two Cheers for Anarchism: Six Easy Pieces on Autonomy, Dignity, and Meaningful Work and Play*, Princeton University Press, 2012, pp.38~39.)

問ア． 囲み部分を日本語に訳しなさい。

問イ． 下線部の理由を日本語で説明しなさい。

平成 30 (2018) 年度
大阪大学大学院文学研究科 (修士課程／一般選抜・春期試験) 入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 アート・メディア論コース 筆記試験

[問題用紙が 1 枚、別紙が 1 枚あります]

問 1 次に挙げる 8 つの用語もしくは固有名詞のなかから自由に 5 つを選び、それぞれを 5 行程度で説明しなさい。

- | | |
|------------|--------------------|
| (1) 原広司 | (2) イコモス (ICOMOS) |
| (3) モンタージュ | (4) マース・カニングハム |
| (5) 高行健 | (6) ポスト・ドラマ |
| (7) 北川フラム | (8) クリスト&ジャンヌ＝クロード |

問 2 次に挙げる 4 つの設問 A～D の内から自由に 2 つを選び、解答しなさい。

A. 建築に関する以下の問に答えなさい

- ①近年、実現しなかった建築案いわゆるアンビルト (unbuilt) 建築への関心が高まっており、展覧会も多数企画されています。別紙の事例を参考に、アンビルト建築の一般的特性を、実在する建築と対比させながら、具体例を挙げて分析しなさい。ただし別紙掲載以外の例を挙げてよい。
- ②建築をミュージアムで展示する際に、絵画や彫刻の展示と比べ、どのような特性や問題点が生じると考えますか。①での考察もふまえてあなたの意見を述べなさい。

B. 過去のダンスを参照する舞踊作品が近年注目されていますが、その創作と受容のプロセスにおいて映像が果たす役割について考察しなさい。舞台舞踊と映像を問わず、商用の制作物も含めて具体的な事例に触れ、表現技法、創作手法、観客の受容などの観点から多角的に論じなさい。

C. 近年、公立劇場ではアウトリーチ活動が盛んになっています。これらのアウトリーチ活動について、具体例を挙げつつ、その背景、意義、問題点などを論じ、これからの公立劇場のあり方を展望しなさい。取り上げる事例は、日本のものでも、国外のものでも、どちらでも構いません。

D. 社会現象としてのインスタグラムおよび「インスタ映え」について分析しなさい。

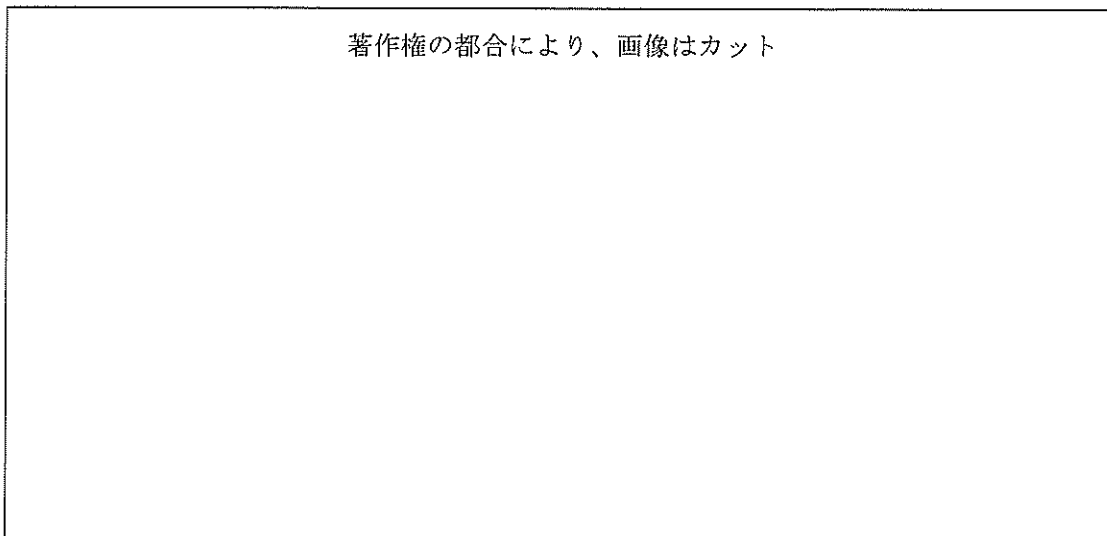
■別紙



Archigram, «Walking City (Project 064) », 1964.

(画像出典 :

https://images.adsttc.com/media/images/5722/ba2f/e58e/cee4/4a00/0152/large_jpg/zvg001.jpg?1461893667)



安藤忠雄、《中之島プロジェクトⅡ[アーバンエッグ 2] 》、1988 年.

(図版出典 :

https://btolprod.blob.core.windows.net/exhibition/664/image/900x435/img3928176076554218934_091542ea25e577e9d8c72fc698adc18d.jpg?v=17)

平成30年度(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・春期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 文学環境論コース 筆記試験

[問題用紙は3枚あります。]

I. 次の英文を読み、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。

出典: Rita Felski and Susan Stanford Friedman, editors. *Comparison: Theories, Approaches, Uses*.
(Johns Hopkins UP, 2013, p. 1, l. 17 - p. 2, l. 20)

(イ) 括弧「 」内を日本語に訳しなさい。

(ロ) 下線部で述べられている "a jolt to consciousness" は大学院でのあなたの文学研究にどのように関わってきますか(もしくは関わってきませんか)。できるだけ具体的に説明しなさい。

II. 次の文章は、夏目漱石「それから」(一九一〇年刊行)の冒頭部分です。よく読んで、後の問いに答えなさい。(それから「新潮文庫」五巻行七頁二一頁)

誰かただしく門前を馳けて行く足音がした時、代助の頭の中には、大きな組下駄が空から、ぞら下つていた。けれども、その組下駄は、足音の遠くへに従つて、すうと頭から抜け出して消えてしまった。そうして眼が覚めた。

杜元を見ると、八重の梅が一疊盤の上に落ちてゐる。代助は昨夜床の中で懐かにこの花の落ちる音を聞いた。彼の耳には、それが飄忽を天井裏から投げ付けた程に響いた。夜が更けて、四隣が静かな所ゆかとも思つたが、念のため、右の手を心臓の上に置いて、助のはずれに正しく中る血の音を確かめながら眠に就いた。

ほんやりして、少時、赤ん坊の頭罩もある大きな花の色を見詰めていた彼は、急に思い出した様に、膝ながら胸の上に手を当てて、又心臓の鼓動を檢し始めた。瘵ながら胸の脈を聴いてみるのは彼の近來の癖になつてゐる。動機は相殺らう落ち付いて確に打つてゐた。彼は胸に手を当てたまま、この鼓動の下に、温かい紅の血潮の細く流れる様を想像してみた。これが命であると考えた。自分は今流れる命を握り抑えてゐるんだと考えた。それから、この草に代る、時計の針に似た響は、自分を死に誘ふ響の様なものであると考えた。この響を聞くことなしに生きていられたなら、——血を盛る袋が、時を盛る袋の用を兼ねなかつたら、如何に自分は気楽だろう。如何に自分は絶対に生き残らう得ただろう。けれども——代助は覺えずそつとした。彼は血潮によつて打たれる掛念のない、静かな心臓を想像するに堪えぬ程に、生きてゐる身である。彼は時々瘵ながら、左の乳の下に手を置いて、もし、此所を鏡で一つ照されたらと思ふ事がある。彼は健全に生きてゐながら、この生きてゐるという丈丈夫な瘵を、殆んど奇蹟の如き體操とのみ自覚し出す事さもある。

彼は心臓から手を放して、杜元の新聞を取り上げた。夜具の中から両手を出して、大きく左右に開くと、左側に男が女を斬つてゐる絵があった。彼はすぐ外の頁へ眼を移した。其所には学校騒動が大きな活字で出ている。代助は、しばらく、それを読んでいたが、やがて、徳意そうな手から、はたなりと新聞を夜具の上に落した。それから煙草を一本吹かしながら、五寸ばかり布団を指り出して、段の上の襦を取つて、引つ繰り返して、鼻の先へ持つて来た。口と口縁と鼻の大部分が全く隠れた。煙りは帯の弁と窓にはまつて驟う煙高く出た。それを白い敷布の上に置くと、立ち上がつて風呂場へ行つた。

其所で四隣に背を晒した。彼は齒並の好いのを常に極しく思つてゐる。肌を脱いで鏡に胸と背を摩摺した。彼の皮膚には濃かな一種の普沢がある。香油を塗り込んだあとを、よく拭き取つた様に、肩を撫かしたり、腕を上げたりする度に、馬所の脂肪が輝く程つて見える。かれはそれにも満足である。次に黒い髪を分けた。油を塗つないでも面白い程自由になる。髪も髪同様に細くかつ切々しく、口の上を品よく詰つてゐる。代助はそのあつくらした頬を、両手で両三度撫でながら、鏡の前におが顔を映してゐた。まるで女が御白粉を付ける時の手付と一様であつた。實際彼は必要があれは、御白粉さえ付けかねぬ程に、肉體に誇を置く人である。彼の尤も嫌うのは醜態の様な骨格と相好で、鏡に向つたんに、あんな顔に生れなかつて、まあ可かつたと思ふ位である。その代り人から御白粉と云われても、何の苦痛も感じ得ない。それ程彼は旧時代の日本を乗り超えてゐる。

(イ) 傍線部について、それはどういふことが、意味を説明しなさい。

(ロ) 筆者は主人公代助をどのような人物として設定しているか、文章の表現に即して、わかりやすく説明しなさい。

(ハ) この文章から、あなたはどのような問題を引き出せますか。あなたの問題意識に従つて、自由に考えを述べなさい。

Ⅲ、次の文章は寺山修司の「はな絵巻」の全文です。後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。

『寺山修司ちくま日本文学全集』筑摩書房、一九九一年、一八二頁二行目～一八五頁二行目。

(イ) 筆者が作った題の絵巻が、まじ道長殿でなされている「はな絵巻」と比較して、その特徴を述べなさい。

(ロ) 筆者は非叙と座敷の関係がどのようなものと考えますか。

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・春期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 言語生態論コース 筆記試験

[問題用紙は2枚あります。]

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。解答は日本語で行うこと。

I. 次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

[著作権に配慮して、割愛します。なお出典は以下の通りです。]

[出典: Leith, Dick (1983) *A Social History of English*. London: Routledge. p.63, 1.14~p.64, 1.6.]

問1 下線部 several objections が指す4つの反論の内容をそれぞれ本文に即してわかりやすく述べなさい。

問2 語の借用に関してあなたの考えるところを述べなさい。対象とする言語は問わない。

II. 次の項目の中から5つ選んで説明しなさい。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. イタリック語派 (Italic branch) | 6. 文法化 (grammaticalization) |
| 2. 連声 (sandhi) | 7. 拘束形態素 (bound morpheme) |
| 3. 複合辞 | 8. 多重否定 (multiple negation) |
| 4. 迷惑受け身 | 9. accomplishment verb |
| 5. 方言圏論 | 10. prototype category |